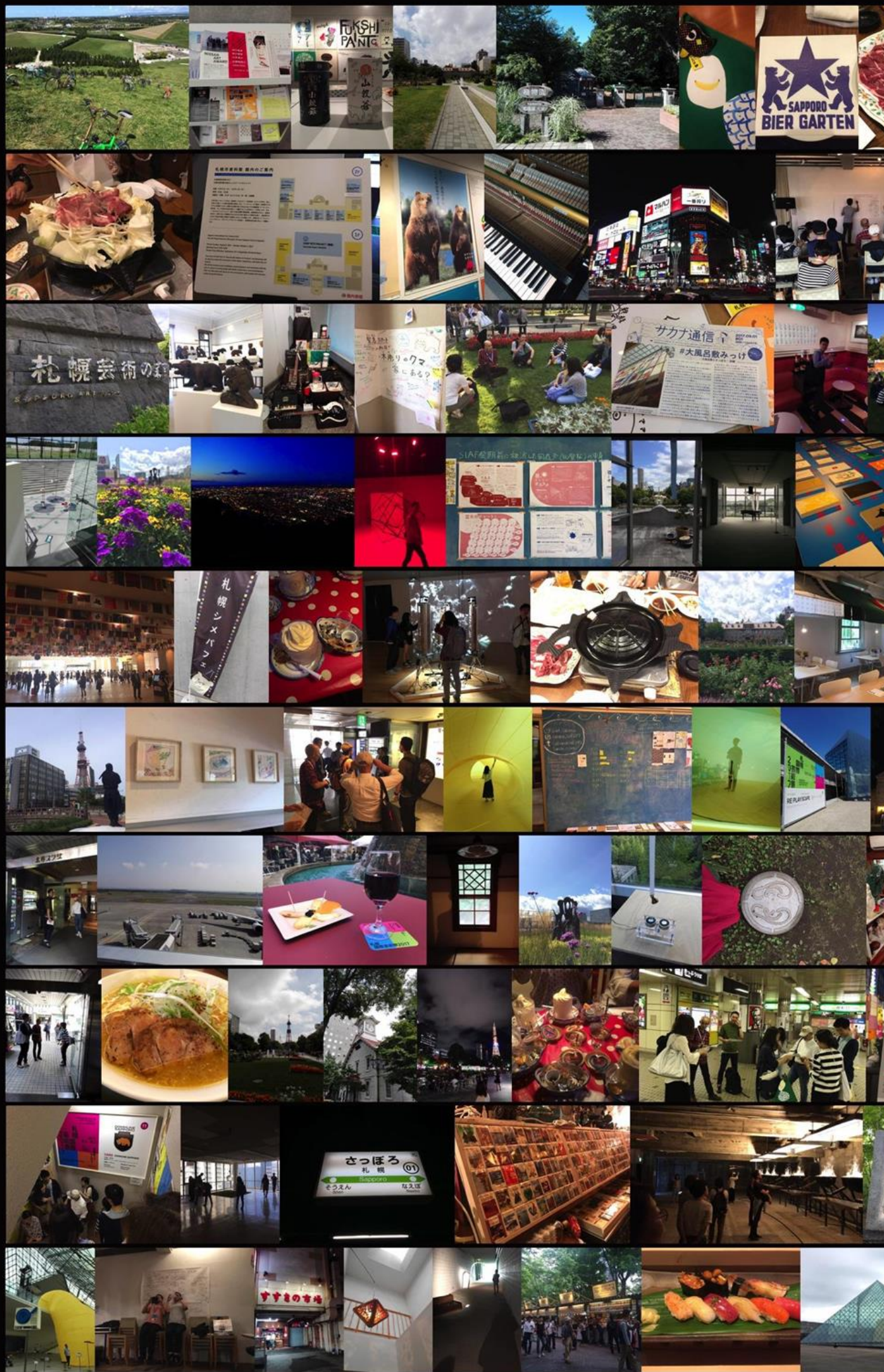


ハマトリーズ！遠足～札幌国際芸術祭2017～



説明

2017年9月9日土曜日、翌10日日曜日。
遠足企画「札幌国際芸術祭2017へ行こう！」を実施しました。

私たち遠足グループは、「他の芸術祭のサポーター活動を知り、ハマトリーツ!の活動に活かす。」をテーマに設定し、計画を立て始めました。

エリアの広い札幌国際芸術祭（略称 SIAF）、全部は無理だけど2日間でどう観て回ろうか。結果みんなと一緒に鑑賞する時間と、各々自由に行動する時間を作ることになりました。
（スケジュールは、次ページの旅のしおり参照）

そして、偶然にも同じ日程で芸術祭にやって来るあいちトリエンナーレのサポーターさんたちも交え、札幌の皆さんの主催で札幌×あいち×ヨコハマのサポーターの交流会が実現しました。

せっかくの札幌。芸術祭のアート作品、札幌の街並み、観たもの、聞いたこと、出会った人、食べたもの。

これは、その記録です。



しおり

＜モエレ沼公園＞～見晴らしの良い公園に、ノビリ遊びに行くつもりで～
世界的彫刻家イサム・ノグチの遺作でもある広大な公園内で、この公園の歴史と彼の視点を現代へとつなぐ6組のプロジェクトを展開。SIAF2017ゲストディレクター大友良英は、ここを「はじまりの地」とした。

屋内展示：ガラスのドリームド
屋外展示：モエレ山
☆9/9(土)closed(花火大会のため) <https://www.moere.jp/>
アクセス)会場連絡バスあり(1日4便・35分・土日祝のみ)
地下鉄東豊線「新道東駅」より、路線バス20分(札幌市街地から60分)
地下鉄東豊線「環状通東駅」より、路線バス25分

▷飲食場所が少ないので注意！自販機も少ない！！
(園内のレストラン：1か所・フレンチ・座席数少)

＜札幌芸術の森＞～広い森の中で、様々なアートを楽しむつもりで～
音の表現を入り口として独自の道を切り開いてきた5人のアーティストたちが作品を展開。

屋内展示：札幌芸術の森美術館・工芸館・有島武郎旧邸
屋外展示：野外美術館
アクセス)会場連絡バスあり(1日2便・40分・土日祝のみ)
地下鉄南北線「真駒内駅」より、路線バス15分(札幌市街地から50分)

▷飲食場所が少ないので注意！自販機は通常。
(園内のレストラン：ピュッフェと小さなカフェ)

＜札幌市立大学＞

空中歩廊「スカイウェイ」を生かし、北海道での旅からインスピレーションを得たという作品を展示。

アクセス)芸術の森と隣接。正規の裏道で歩10分

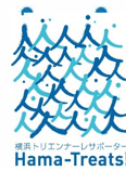
＜円山公園＞～札幌のオシャレ地区。カフェやレストランも多数～

鑑賞者自身が「大風呂敷テント」を借りてコタン(村)を形成する。
☆9/10(日)10-15時ワークショップあり
アクセス)地下鉄東西線「円山公園駅」より、歩7分
＜円山動物園＞未知の場所を進みながら過ぎ去った風景を思い出す「旅」を体験。
☆スマホなど動画撮影できるものを持参すると良い

アクセス)地下鉄東西線「円山公園駅」より、歩20分
＜札幌宮の森美術館＞15年を超える北海道での旅で撮影した写真群。
アクセス)地下鉄東西線「円山公園駅」より、歩20分
＜北海道大学総合博物館＞日本の現代詩の最先端を切り開いてきた詩人の作品展示。
☆2016年7月にリニューアルオープン <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>
アクセス)札幌駅北口より、歩15分、北大正門より、歩7分

ヨコとりっぷ

札幌国際芸術祭2017へ行こう！



企画：横浜トリエンナーレサポーター「ハマトリッぷ！」
遠足グループ



タイムテーブル

【9/9(土)】

- 13:00 札幌市営地下鉄南北線 すすきの駅改札前 集合
- 13:00 まちなかエリア鑑賞 ※チケットは各自で購入
- 15:50 交流会会場 SIAFオフィシャルバー「OYOYO」集合
- 16:00 「札幌×あいち×ヨコハマ」サポーター交流会
- 18:00 移動 ※OYOYOよりタクシーで約1,100円
- 19:00 夕食

場所：サッポロビール園 ポプラ館
会費：おひとり3900円(税込、ジギスカン、ビール100分食べ飲み放題)

夕食後、解散

★いま、札幌ではラーメンではなくパフェを食べる「しめパフェ」がブームだそうです。甘いものが嫌いでなければ、ぜひ「しめパフェ」も食べに行きましょう！



【翌10(日)】

自由行動・自由解散

まちなかエリアの豆知識：

中心地は基盤の目状態になっているので、住所を頼りに自分の足で探すのも楽しいですよ。
「大通公園」を起点に、南北〇条「テレビ塔」と起点に、東西〇丁目
また、札幌駅～(徒歩12、3分)～大通公園～(徒歩6～7分)～すすきのと、距離も近いです。



まちなかエリアのはみだし情報：「さっぽろオータムフェスト」開催中！
(9/8～9/30・10:00～20:30・大通公園) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

まちなかエリアMAP



- ①金市館ビル
13:00-20:00
地下鉄大通駅36番出口より徒歩1分、
地下鉄豊水すすきの駅より徒歩2分
出品作家：橋田哲也
- ②北専プラザ佐野ビル
13:00-20:00
地下鉄すすきの駅より徒歩2分
出品作家：瀧尾まか
- ③AGS6・3ビル
13:00-20:00
地下鉄すすきの駅より徒歩3分
出品作家：堀尾真太
- ④北海道教育大学 アーツ & スポーツ文化複合施設 HUG
12:30-19:30
地下鉄大通駅27番出口より徒歩7分、
バスセンター前駅より徒歩5分
出品作家：さむひらき
- ⑤札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
7:30-22:00
地下鉄大通駅とバスセンター前駅を結ぶ地下コンコース内
出品作家：中崎透
- ⑥札幌市資料館
10:00-18:00
地下鉄函11丁目駅下車より徒歩5分
- ⑦OYOYOまち×アートセンター さっぽろ(交流会会場)
18:30-22:30
地下鉄大通駅1番出口より徒歩2分
- ⑧CA102
11:00-18:00
地下鉄大通駅1番出口直結
出品作家：札幌ルーブライン、さむひらき
- ⑨狸小路商店街
開館時間・休憩日は各店舗による
地下鉄大通駅より徒歩5分、
地下鉄すすきの駅より徒歩3分
- ⑩大通すわろうテラス
11:00-19:00
- ⑪大漁居酒屋てっちゃん
15:00-16:00(日曜休)
地下鉄すすきの駅2番出口より徒歩2分

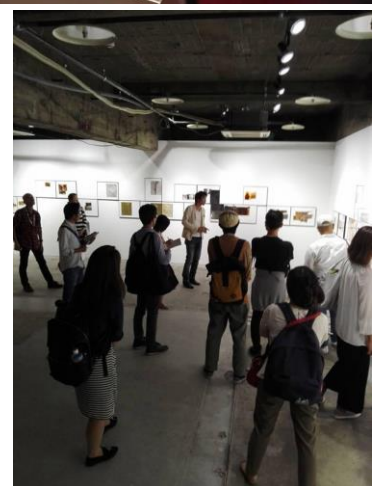
集合

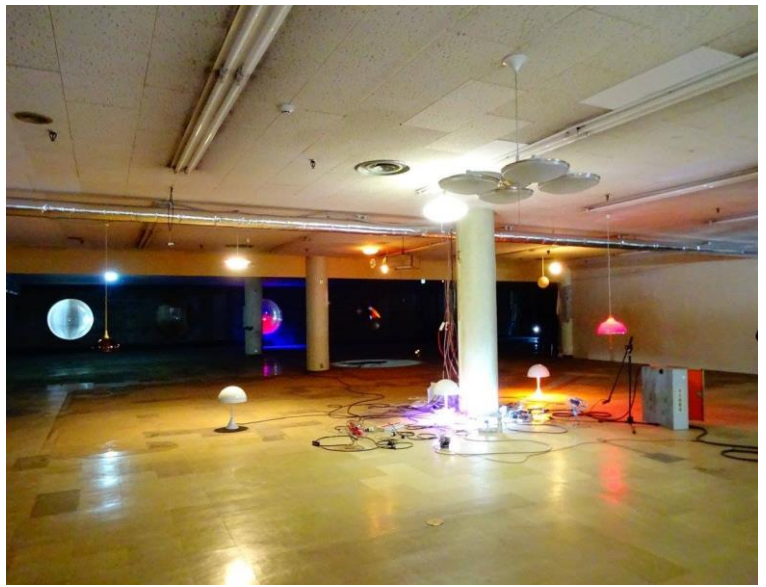
土曜日のお昼に、すすきの駅で集合。
いよいよ札幌遠足スタート！
まずは参加メンバーと一緒に、この近
辺のまちなかエリアを鑑賞。今なお営
業中の雑居ビルや既に空き店舗となっ
ている場所などを会場に「なんじゃ、
こりゃ！？」という作品たちが集まっ
ていました。

<AGS6・3ビル>

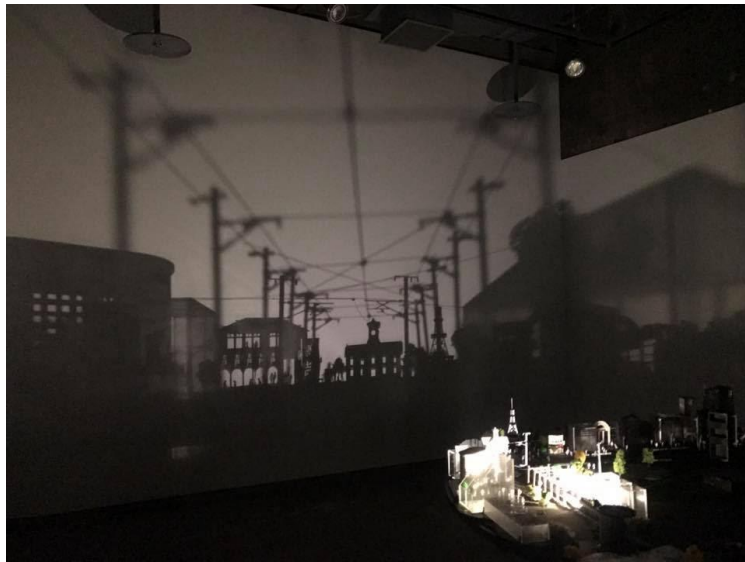


<北専プラザ佐野ビル>





<金市館ビル>

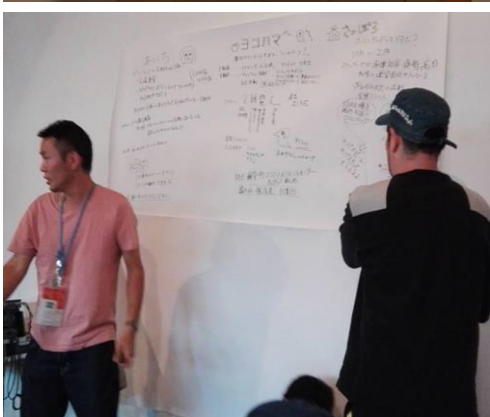
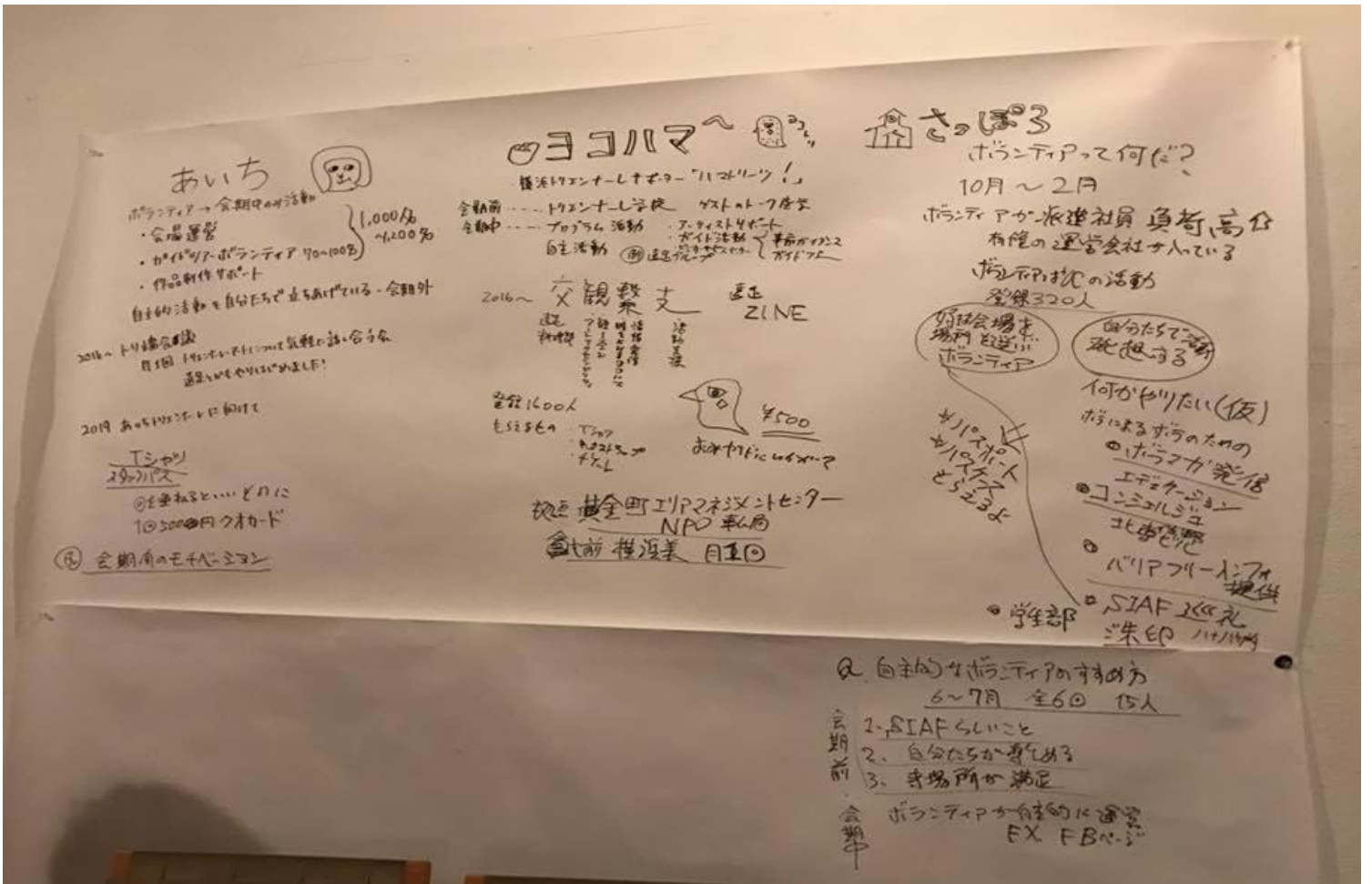


<CAI02>

札幌大通公園☆
お天気も良かったので、芝生の上に座ってちょっと休憩。



交流会





なんと、SIAFには、オフィシャルバーがあります！店舗名は「出会い」。市民作成の大風呂敷が飾られたこちらで、夕方から札幌×あいち×ヨコハマのサポーター交流会が行われました。

その後、会場をサッポロビール園に移して交流会の第二弾。生ビールとジンギスカンで北海道の食も満喫しました。



懇親会@サッポロビール園

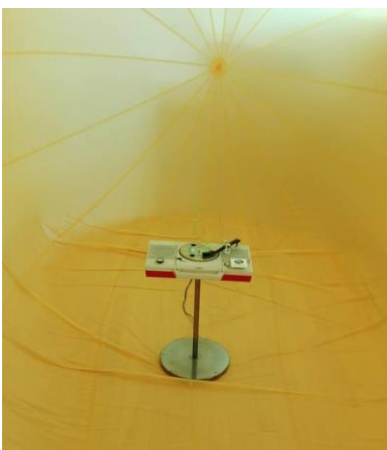
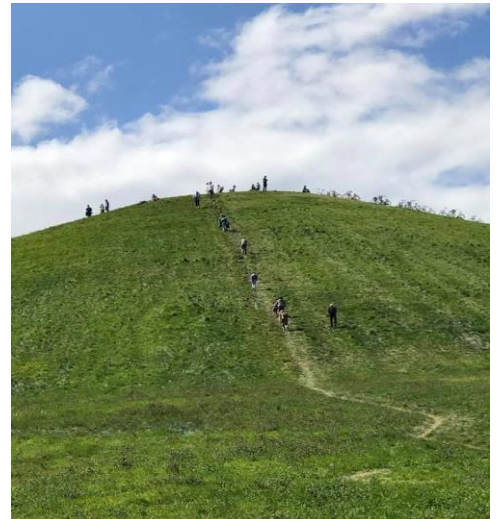
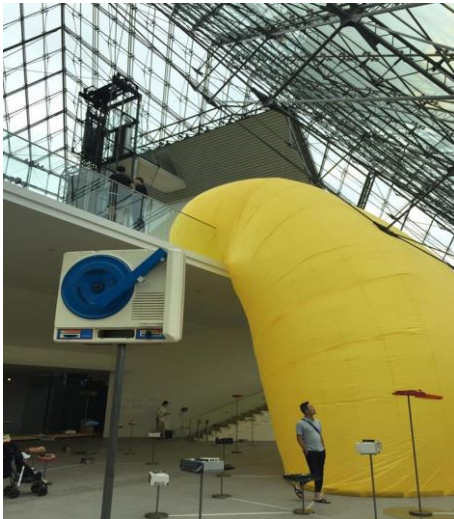


モエレ沼公園



日曜日は自由行動。グループで会場をゆっくり回るメンバーもいれば、帰りの飛行機の間まで効率よく回るメンバーも。

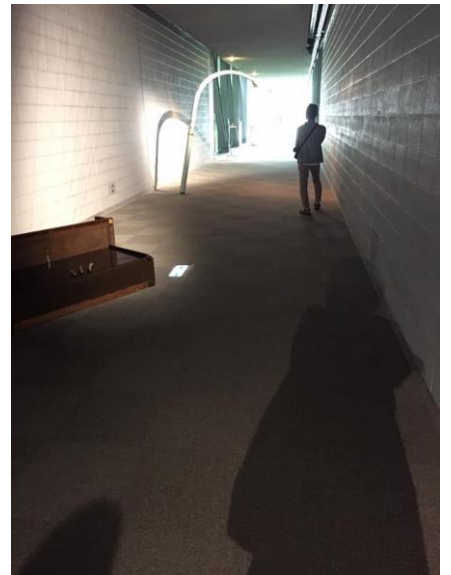
世界的な彫刻家イサム・ノグチが基本設計をした公園。その象徴であるガラスのピラミッドや、人工のモエレ山に作品が展示されていました。



札幌芸術の森



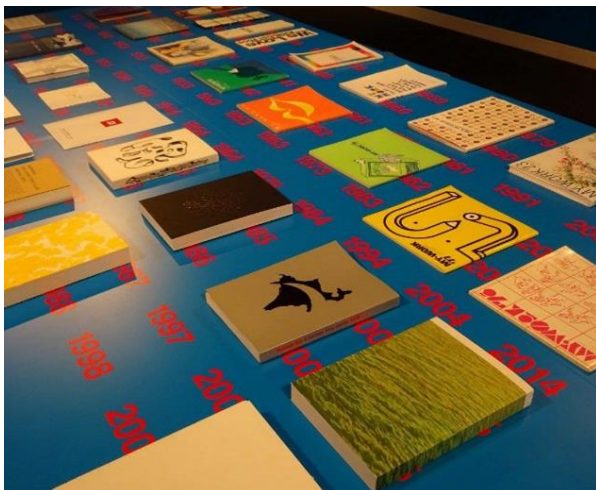
広大な森の中に、音楽と美術を行き来するような作品が展示されていました。また隣接する札幌市立大学芸術の森キャンパスでは、空中廊下が音と光の空間となっていました。



JRタワープラニスホール



札幌駅直結の商業ビルの11階。
こちらでは、札幌にまつわる
様々なデザインについて展示が
されていました。開拓時代の幻
の北極星のエンブレムから、定
番のお土産のデザイン、さら
にあの初音ミクにも会えました(^)

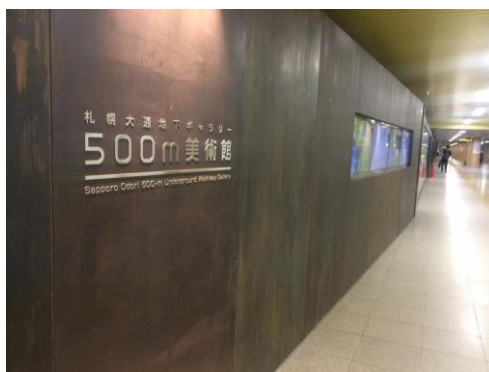


北海道教育大学 アーツ&スポーツ文化複合施設

HUG



札幌大通り地下ギャラリー 500m美術館



地下鉄の駅間をつなぐ通路を500m使って、札幌オリンピックや雪山にまつわるものを展示。こちらでは、ボランティアチームも制作に参加したとのこと。



芸術祭の雰囲気



4ヶ所あるインフォメーションや地下通路、札幌駅コンコースなど、街のあちこちに大風呂敷が飾られていて、祭りの楽しい雰囲気が出ていました。

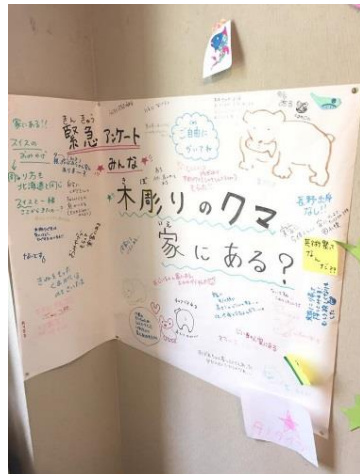
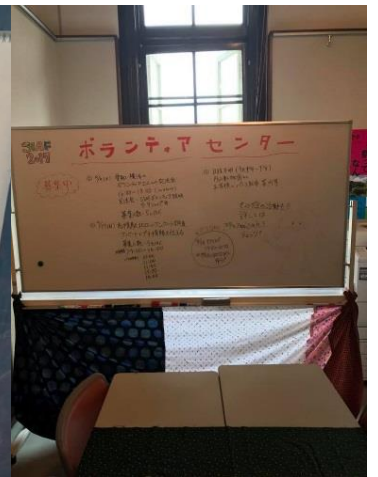
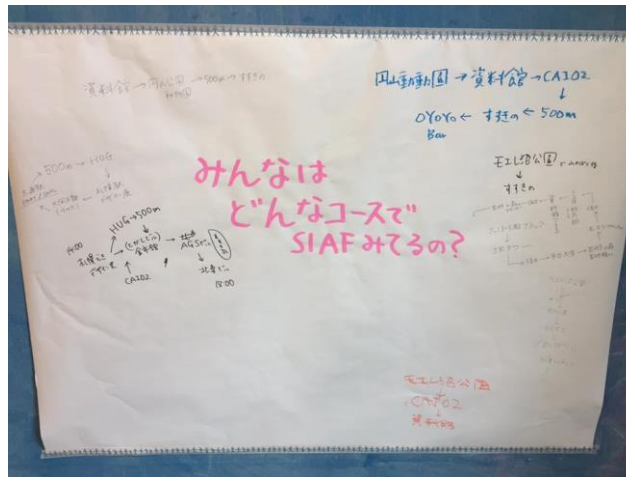
スタンプラリーも用意されており、12個集めると、SIAFカラーのファイルがもらえました♪



札幌市資料館



大通公園の西の端に位置するこの建物は、かつての高等裁判所。こちらでは、北海道の定番（！？）木彫りのクマを集めた展示や、インフォメーションセンター、ボランティアセンターが併設されていました。



お気に入り作品紹介 (作品名五十音順)



◀ 端聡

《Intension and substance》@北専プラザ佐野ビル

偶然にも作家ご本人による作品解説の場に立ち寄ることができた。幾つかの展示作品のうち、あいちトリエンナーレ2016でも見た作品が印象深い。熱された釜の中に落ちる水滴が一瞬にして蒸発し、また水滴となってタンクに回収され循環する。光と闇、液体と蒸気の強烈な対比が、蒸気機関のような、今となってはチープだが未来を思わせる装置によって演出される。解説を聞きながらじっくり見ていると、作品に託された壮大なテーマや、ディテールに潜む様々な工夫に気付かされた。(木村)

▶ 大友良英+青山泰知+伊藤隆之 《(with) without records》@モエレ沼公園 ガラスのピラミッド

「針がおりの瞬間の胸の鼓動焼きつけろ〜♪」。若かりしころ、小遣いを貯め買った念願のレコードに針を落とす時のドキドキ感、私より少し下の世代までなら、恐らくほとんどの方が経験しているものの、同時に記憶の彼方に追いやられてしまっていた感覚かもしれない。既に過去の遺物となった、レコードプレーヤーが、今こうして芸術作品として生まれ替わっている。音響機器メーカーに勤める自分の目には、先輩たちが苦勞して開発・設計・生産・販売したであろうものもちらほら目に留まる。この作品を見て、何を感じるべきなのかは良くわからないが、なにか忘れかけていた胸が熱くなる感覚を一瞬でも蘇らせてくれた、そんな作品でした。(すてふあん)



▶ 鈴木昭男 《点音》@札幌芸術の森野外美術館ほか

札幌芸術の森に点在する、耳のような靴のようなマーク。その上に立って耳をすましてみる。特に何も聞こえるわけではなかったけど、時には何かの音が聞こえてくるかもしれない。今回の札幌国際芸術祭ディレクターの大友良英氏の仕事とも親和性が高い、環境音に正面から向き合ったこの作品は、平凡な日常にも特別なものを見つける術を教えてくれるようだ。初めて鑑賞した作品だったが、実はこれまでに世界中で披露されてきたらしい。横浜でも2010年にあざみ野でワークショップが実施されている。(木村)

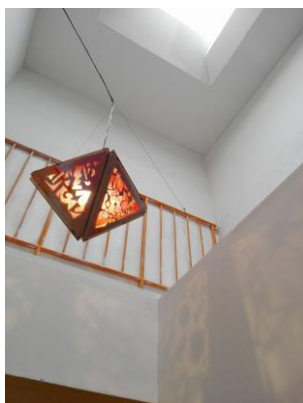


◀ 富士翔太郎 《きこえるまち》

@Ten to Ten Nakajima-Koen

宿泊したゲストハウスに展示された作品、アーティストさんが「青空と、夕焼けの写真を。」と呼び掛けて、ゲストハウスのスタッフのみなさんが集めた写真で作ったオブジェ。プラネタリウムにもなるそう。

作品について思い出すとき、楽しかったゲストハウスのことも思い出します。(キタノ)



▶ タノタイガ+SIAFラボ 《SIAF CAMP SITE PROJECT 『裏庭』》@札幌市資料館外構部 裏庭

札幌市資料館の裏庭をキャンプ場にしてしまおうという奇抜なプロジェクト。訪れた当日そんな素振りの人は見当たりませんでした。そんなに街中なのに宿泊も可能とのことでした。タノタイガの『開拓風呂』と題したピンク色が眩しい星形のお風呂が庭のまんなかの目立つところに設置されていて、公園の水飲みからグルグルと延びた黒いホースによりお日様の熱で水を温めるという趣向のようでした。会期中何度か作家さん本人が入浴したらしく、訪れた日は天気がよかったので、もしホカホカのお湯が張られていたら自分も試してみたいことでしょう。(ヒロ)



▶ 岸野雄一・クワクボリョウタ 《札幌ループライン》 @CAI02

車窓からの景色を眺めているのが好きです。特に、街中を走る市電は、時に車に抜かれたり、時に信号で止まったり、別に先は急いでいませんよ〜というスピードが程よい感じ。札幌生まれの私には、馴染みのある建物たちが、朝の光の中で、やがて夕焼けから夜の灯りの中で、影絵となって映し出されるこの作品は、いつまでも眺めていたい景色でもありました。（キョウコ）



◀ 中崎透 × 札幌 × スキー

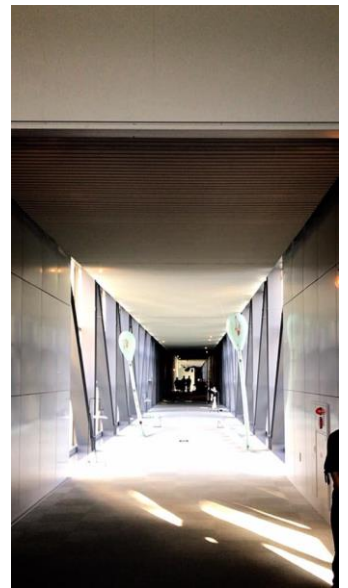
《シュプールを追いかけて》 @500m美術館

駅ナカギャラリーとして日本最長の500m美術館には「SIAF500メーターズ」というボランティアの協力のもと展示された北海道を象徴する資料がずらり。スキー板や靴といった雪国らしい道具や札幌五輪関連のポスター、ユニフォームなど膨大な資料が500m通路一面に配置され圧巻です。駅ナカ通路ということで、このボリュームの資料・作品が7:30~22:00まで見ることができ...旅行者には大変うれしい配慮でした！（ナス）



◀ 八雲 《スキー持ち熊》 @札幌市資料館

部屋中に猛々しい顔つきをした木彫りの熊が並ぶなか、この熊は「これから滑りに行くの！」と言いたげな楽しそうな顔をして、鮭ではなくスキーを背負っていたのが印象的でした。（Miho）



▶ 毛利悠子 《そよぎ または エコー》

@札幌市立大学 芸術の森キャンパス スカイウェイ

美術作品を観たというより、音楽を聴いた。という感覚になる作品です。エレベーターを上がり廊下を進むと、とても静かだけど、そこにはリズムや、演奏者の息づかいが微かに残っているような、音楽の脱け殻の中に居るようでした。そうか、だからエコー（残響）なのかな。（キタノ）



◀ 伊藤隆介 《長征ーすべての山に登れ》 @モエレ沼野外

広い公園の中、緑のモエレ山の頂上に向かって、たくさんの自転車が列をなして、今にも走り出していきそうな作品。離れて見ていると、青い空に向かって進んでいこうとしている姿は神々しいようにも感じましたが、でも1台1台の自転車に近づいてみると、それらはどれも使い古されたものたちで、自分が小学生の時によく乗っていた自転車のことを思い出しました。あの自転車に最後に乗ったのは、いつだったかな・・・（キョウコ）

▶ 梅田哲也 《りんご》 @りんご

そのなんともシンプルなタイトルにも惹かれ、雨の降る日没後に見に行きました。駅から少し距離もあり、本当にこの辺りにあるのかしらと不安にもなりましたが、到着して目にした作品のまあるい光はどこか心をほっとさせてくれました。かつてりんご倉庫だったという木造の空間には温かさがあっても、作品の光や音、水滴と蒸気の瞬間性によって不思議なかんじがしました。（nsm）



◀ 梅田哲也 《わからないものたち》

@金市館ビル

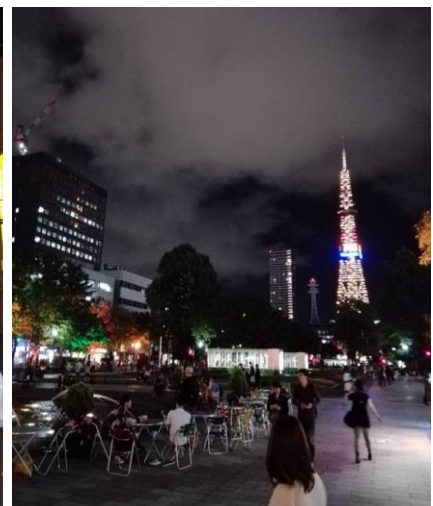
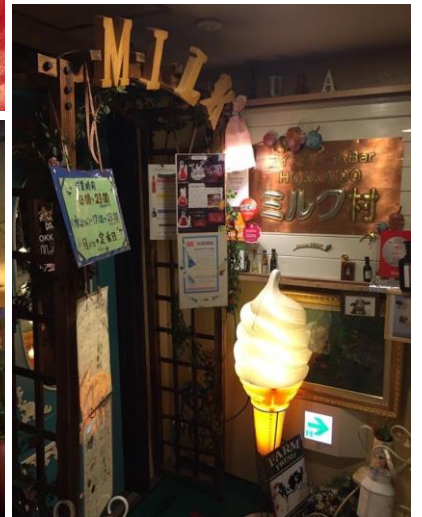
これはなに？とひとつひとつに言ってしまうようになりました。材料は廃材や日用品という身近なものでありながら、タイトル通りの“わからないものたち”！！光に影に、静かかと思えば突然鳴り出す音。動いて止まって、登って降りて、今度はガラス玉越しに逆さまの街を見てみたり・・・フロアのあちこちに散りばめられているのは、やはり、わからないものたちなのですが、そう名付けられているのだから、わからなくてもいいのかなとちょっと気楽に楽しめたのでお気に入りです。（nsm）

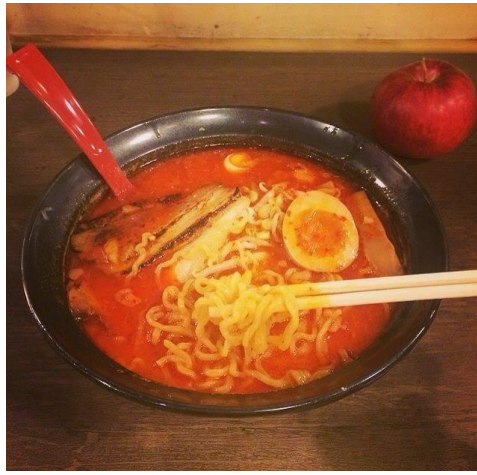
札幌グルメ ~SIAF以外もご紹介~

夜のすすきの☆

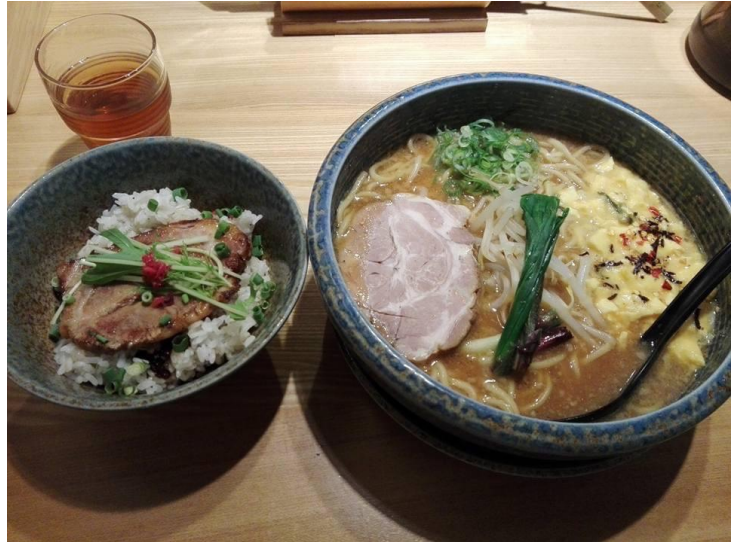


最近話題の「しめパフェ」





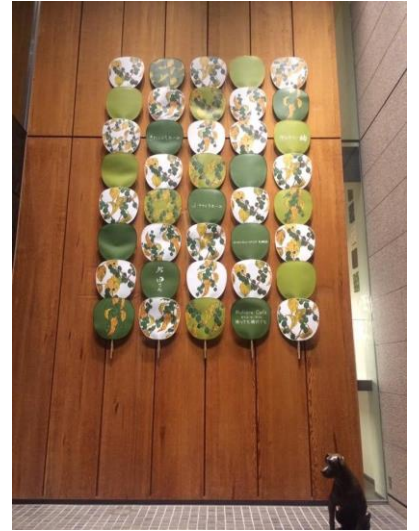
メンバーそれぞれが
食べたラーメンの
数々。麺にもスープ
にも、その店独自の
こだわりあり。





そして、スープカレーも色々
と。ラーメンに負けじと、種類
豊富です。
地元のコンビニ「セイコーマート」
のお店で作るあったかメニュー
「ホットシェフ」も、なかなか
美味。

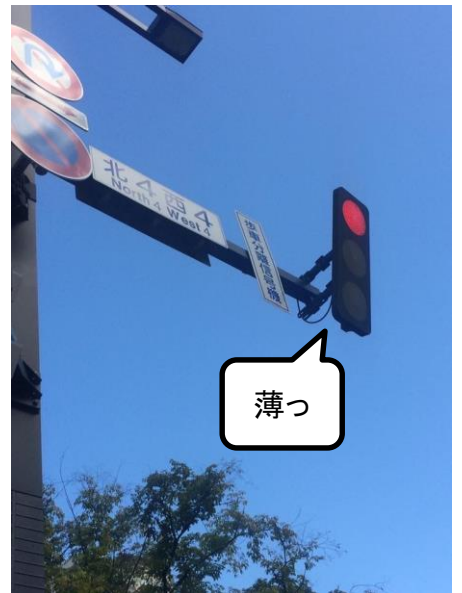




その他にも、海鮮系、
カフェ系、スイーツ系
に、アルコール系
も・・・
楽しみました！



おまけ～こんなものを見つけました～



あとがき

交流会ではそれぞれの活動紹介を行いました。

札幌国際芸術祭では2014年の前回展でボランティアの負担が大きすぎたことからあり方を見直して、会場・プロジェクトごとの活動と、ボランティアが自発的に取り組む活動のふたつの枠組みを設定したそうです。自発的な活動ではボランティアマガジンの発信、バリアフリー情報の提供、札幌の街を楽しんでもらうコンシェルジュなどの活動が生まれているということでした。

あいちトリエンナーレでは作品のガイド、会場運営、作品制作サポートなどの活動があるが、会期が終わるとボランティアは解散になってしまうので、参加していた人たちの中から自発的に月に一度集まり、2019年の次回のあいちトリエンナーレに向けて自主的な活動について意見交換の場を作っているということでした。

ハマトリーツ！も2017年の今、プログラム活動と自主活動の枠組みで活動しています。あり方や背景は違っても、三者とも自主的・自発的な活動について、それぞれ試行錯誤している様子を知ることができた交流会でした。

私たち遠足グループも「ハマトリーツ！の活動に活かす」というテーマをどう実践するか自分たちで色々考えて、今回はこのような形で「記録に残す」ことにしました。

2020年に向けて、新しくサポーター活動に参加する誰かが、ちょっとでもヒントや参考にしてくれると、いいなあ。

ハマトリーツ！遠足～札幌国際芸術祭2017～
2017年12月16日 初版第1刷発行

□企画・編集

横浜トリエンナーレサポーター ハマトリーツ！遠足グループ
(キタノ、木村、キョウコ、すてふあん、ナス、nsm、Miho、ポースン、ヒロ)

□発行元

横浜トリエンナーレサポーター事務局
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3丁目4-1 横浜美術館
横浜トリエンナーレ組織委員会事務局内
TEL: 045-228-7816 / MAIL: info@yokotorisup.com
WEBサイト: <http://www.yokotorisup.com>

□□ Special Thanks! □□

札幌国際芸術祭実行委員会 事務局のみなさま、SIAFたんけん隊のみ
なさま、トリ端会議のみなさま、寺島さん、藤森さん、堤さん

